

## 平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 シンワアートオークション株式会社  
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 倉田 陽一郎  
 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	262	98.8	△65	—	△67	—	△50	—
26年5月期第1四半期	131	—	△52	—	△62	—	△66	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 △51百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △68百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	△8.86	—
26年5月期第1四半期	△12.98	—

(注) 1. 当社は、平成25年12月1日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 2. 平成26年5月期第1四半期及び平成27年5月期第1四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年5月期第1四半期	2,455	—	1,561	—	63.1	273.79
26年5月期	2,860	—	1,644	—	57.1	288.65

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 1,548百万円 26年5月期 1,632百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	829	46.0	59	△15.8	49	△21.1	23	△51.2	4.12
通期	2,161	56.0	238	75.9	219	80.0	134	23.6	23.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	6,516,100 株	26年5月期	6,516,100 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	859,800 株	26年5月期	859,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	5,656,300 株	26年5月期1Q	5,120,100 株

(注) 当社は平成25年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年6月1日～平成26年8月31日）におけるわが国の経済は、政府の金融政策、財政政策の効果もあり、概ね安定した企業業績と雇用環境が改善したことにより消費者心理も上向き、これらを背景に全体としては緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動からの回復は当初想定よりも鈍く、また海外では中東やウクライナ情勢などの地政学リスクが高まり、中国・新興国の景気減速懸念と相まって引き続き国内景気を押し下げるリスク要因となっております。

このような環境のもと、当社グループは、当社の主たる事業であるオークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めるとともに、再生可能エネルギー関連事業及び医療機関向け支援事業においては、安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、前連結会計年度末より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しております。

## ①オークション関連事業

当第1四半期連結累計期間は、取扱高781,647千円（前年同期間比34.4%増）、売上高176,504千円（前年同期間比34.1%増）、セグメント損失54,408千円となりました。

## i) オークション事業

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第26期第1四半期連結累計期間							
	自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	312,820	△24.8	54,291	△28.1	1	140	114	81.4
近代陶芸オークション	46,175	△11.4	11,725	2.4	1	197	178	90.4
近代美術Part II オークション	28,925	△42.7	7,030	△57.0	1	134	114	85.1
その他オークション	365,370	1,029.3	81,310	977.7	2	599	340	56.8
オークション事業合計	753,290	36.8	154,357	39.2	5	1,070	746	69.7
プライベートセール	11,202	22.8	10,372	19.4				
その他	17,154	△21.3	11,774	△2.3				
オークション関連 その他事業合計	28,357	△8.3	22,147	6.8				
オークション関連事業合計	781,647	34.4	176,504	34.1				

当第1四半期連結累計期間は、近代美術オークション、近代陶芸オークション、近代美術Part IIオークション及びBags/Jewellery&Watchesオークションを開催したほか、特別オークションとして「棟方志功―漆黒の宇宙、紅色のいのち」を開催しました。

「棟方志功―漆黒の宇宙、紅色のいのち」に出品された一連の作品は、極めて質が高く、本来であれば近代美術オークションに出品されるべきところを、趣向を凝らし、あえてワンオークションとして開催したものであります。結果として、近代美術オークションにおいては、前年同期比で取扱高、売上高が減少しておりますが、特別オークション「棟方志功―漆黒の宇宙、紅色のいのち」は、出品点数は22点と少ないながらも、平均落札単価は1,300万円を超えて開催前の予想を大きく上回る結果となり、セグメントの取扱高、売上高に大きく貢献しました。

#### ii) その他オークション関連事業

プライベートセール部門では、当第1四半期連結累計期間も積極的な取り扱いに努めました。その他、貴金属等買取サービスを積極的に行いましたが、前年同期間との比較では大口の取り扱いがなく、取扱高、売上高は、ほぼ前年同期間並みの実績となりました。

#### ②再生可能エネルギー関連事業

子会社エーベック株式会社が群馬県渋川市に建設した50kW級の小型太陽光発電施設の販売及び宮崎県西都市の穂北太陽光発電所の売電事業により、当第1四半期連結累計期間の再生可能エネルギー関連事業の売上高は85,441千円、セグメント損失は10,220千円となりました。

#### ③その他

医療機関向け支援事業におきましては、平成25年6月より診療報酬債権ファクタリング事業を開始し、医療機関向けファクタリングのための具体的折衝を随時行っておりますが、当社の第7回新株予約権に係る資金調達の遅れと、当社からの一時貸付を再生可能エネルギー関連事業に対して優先的に行っていることにより、投資機会を見送る状況にあります。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高262,161千円、営業損失65,412千円、経常損失67,667千円、四半期純損失50,124千円となりましたが、これらの実績値は、オークション関連事業の第2四半期及び第4四半期にオークションが多く開催されるという季節的変動要因の影響を受けたものであり、当連結会計年度の業績予想の範囲内で推移しているものであります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、2,455,081千円となり、前連結会計年度末に比べ、405,030千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少493,674千円、製品の減少62,196千円、前渡金の減少168,271千円と、商品の増加60,835千円、仕掛品の増加122,748千円、その他流動資産の増加166,282千円によるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、893,358千円となり、前連結会計年度末に比べ、322,026千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の減少50,280千円と短期借入金の減少253,800千円によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,561,722千円となり、前連結会計年度末に比べ、83,004千円減少いたしました。その主な内訳は利益剰余金の減少84,062千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年7月11日の「平成26年5月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,273,261	779,586
売掛金	5,065	3,969
オークション未収入金	26,100	1,721
商品	462,129	522,964
製品	100,583	38,386
仕掛品	55,590	178,338
前渡金	235,137	66,866
その他	84,613	250,895
貸倒引当金	△31	△48
流動資産合計	2,242,449	1,842,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,410	6,997
機械装置及び運搬具(純額)	292,440	287,843
その他(純額)	5,563	5,015
有形固定資産合計	305,415	299,857
投資その他の資産		
商品共同投資	240,853	240,853
その他	85,212	85,517
貸倒引当金	△13,819	△13,829
投資その他の資産合計	312,246	312,542
固定資産合計	617,661	612,399
資産合計	2,860,111	2,455,081
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,669	2,168
オークション未払金	52,585	2,304
短期借入金	696,500	442,700
1年内返済予定の長期借入金	28,500	28,500
未払法人税等	20,310	1,296
賞与引当金	18,484	7,730
役員賞与引当金	24,415	2,909
その他	67,058	108,662
流動負債合計	912,523	596,271
固定負債		
長期借入金	249,375	242,250
退職給付に係る負債	33,500	34,850
資産除去債務	7,386	7,386
その他	12,600	12,600
固定負債合計	302,861	297,086
負債合計	1,215,384	893,358

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,203	920,203
資本剰余金	524,953	524,953
利益剰余金	412,053	327,991
自己株式	△222,826	△222,826
株主資本合計	1,634,383	1,550,321
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,708	△1,708
その他の包括利益累計額合計	△1,708	△1,708
新株予約権	6,507	8,502
少数株主持分	5,544	4,608
純資産合計	1,644,727	1,561,722
負債純資産合計	2,860,111	2,455,081

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	131,862	262,161
売上原価	41,526	123,001
売上総利益	90,336	139,159
販売費及び一般管理費	143,134	204,572
営業損失(△)	△52,798	△65,412
営業外収益		
受取利息	58	127
為替差益	—	1,532
受取保険金	1,800	—
貸倒引当金戻入額	343	—
その他	470	270
営業外収益合計	2,672	1,930
営業外費用		
支払利息	521	4,083
持分法による投資損失	1,517	—
新株予約権発行費用	8,554	—
為替差損	1,854	—
その他	—	102
営業外費用合計	12,447	4,185
経常損失(△)	△62,574	△67,667
特別損失		
固定資産除却損	1,450	—
事務所移転費用	2,318	—
特別損失合計	3,769	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△66,343	△67,667
法人税、住民税及び事業税	406	369
法人税等調整額	555	△16,975
法人税等合計	961	△16,606
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△67,304	△51,061
少数株主損失(△)	△828	△936
四半期純損失(△)	△66,475	△50,124

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△67,304	△51,061
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,245	—
その他の包括利益合計	△1,245	—
四半期包括利益	△68,550	△51,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,721	△50,124
少数株主に係る四半期包括利益	△828	△936

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークシ ョン関連事業	再生可能 エネルギー関連 事業	計		
売上高	131,634	-	131,634	228	131,862
セグメント 損失(△)	△46,660	△3,324	△49,984	△2,814	△52,798

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークシ ョン関連事業	再生可能 エネルギー関連 事業	計		
売上高	176,504	85,441	261,945	216	262,161
セグメント 損失(△)	△54,408	△10,220	△64,629	△783	△65,412

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社及び当社の連結子会社は、オークションの企画、運営を行うオークション関連事業と再生可能エネルギー関連事業、医療機関向け支援事業を行っております。

前連結会計年度末より、より合理的な経営判断を行うために、報告セグメントを従来の「近代美術オークション」、「近代陶芸オークション」、「近代美術Part II オークション」、「その他オークション」、「プライベートセール」、「再生可能エネルギー関連事業」の6区分から、「オークション関連事業」、「再生可能エネルギー関連事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。